

私は現在、農家レストランまほろば（※）の会長で、構成している3グループのなかの「すずらん」の代表もやっています。すずらんでは、たけのこ、いたどりや山に採り行つて食材を確保しています。購入すると高いので体を使って食材確保をしています。



まほろば畑
やっています！

隅田 るり子 さん
(小籠)

に
こ
こ
ら
い
ふ

193



こういつたことが材料費を安くすることにつながります。自分たちで材料を持って行くこともありますが、何を持っていくかという形をとっています。みんながボランティアの気持ちでやっています。

農家レストランの始まりは、農漁村女性グループ研究会で四十町十和のおかみさん市へ1日研修に行ったことでした。この日、県の支援員のアクションプランの座談会があり、産業振興計画の地域起しがスタートし、その中で農家レストランをやることとなりました。

最初の頃は予約不可で、食後のコーヒーも出してなかったですが、毎回のアンケートを取り、お客さんの満足度を優先して改良していききました。現在は事務局の農林水産課で電話予約できます。

今後については、すずらん、味彩、たちばなの3グループでスムーズにいけるように見守って、うまくいくようになったら新チームを増やしていきたいです。

※道の駅南国風里のレストラン定休日（火曜日）に営業。
問い合わせ先／農林水産課
☎880・6559

農家レストランについて語ってくれた隅田さん。8月9日には農業高校生による営業もあるそうです。

親子クイズ 531

Q 数字を使った問題。

たとえば、1をA、2をB、4をCとすると、
 $AB \times AB = ACC$ という式が成り立つが、

$$AA \times AA = BBCC$$

という式が成り立つ場合、A、B、Cのそれぞれに入る数字は何か？

ヒント：A、B、Cに入る数字は1ケタである。

【第530回解答】

- ①海の日
- ②1995（平成7）
- ③20
- ④ハッピーマンデー
- ⑤海の記念日

【第530回当選者】

岩内 真由美（領 石）	入交 哲子（田 村）
竹村 綾（西 山）	北村 安子（立 田）
高田 拓（篠 原）	

★応募総数／44通

★正解率／68%

親子クイズは、広報委員が毎月順番に考えています。

■応募締切／8月12日（金）必着
■あて先／〒783-8501
南国市大堀甲2301
南国市企画課「親子クイズ係」
※はがきで応募
■賞品／正解者の中から抽選で、5名に図書カード（1,000円）を贈呈

ふれあいつながって 65 人権学習シリーズ

四月から自転車通勤しはじめた。近くのコンビニに行くのでさえ自動車を使っていた私にとって、「チャリ通」は、学生時代以来の経験である。当然、ペダルをこぐ私の足は重くて、景色の進みも、日々ゆっくりと変わっていった。そんな時、

「おはようさん。今日もやりゆうかねえ・・・。」

ふと、私の耳に飛び込んできた声。それは、近所の人同士の他愛もないあいさつだった。けれど、それは、自動車に乗ってはいけなくて聞けない声だった。

頬にあたる爽やかな風。アスファルトにさす光。土の匂い。鳥のさえずり。今までの私には気づけなかった日常が、そこらじゅうに溢れていた。ペダルの重さはずいぶん軽くなった。

先日目にした新聞記事によれば、世界人口の三分の一が、天の川を見られないという。夜間照明など人工の光が過剰にあふれる「光害」のせいらしい。日本では、実に人口の七割が、天の川が見えない場所に住んでいるそうだ。けれど、最近、夜空を見上げたのはいつのことだろうか。少し不安

「私の街」

になり、日暮れを待つて、夜空を眺めた。さすがに満天の星ではないけれど、人の住む灯りの上に、まだきれいな星空が広がっていた。心が落ち着いていた。

風や音や、においを感じたり、星空を見て思いをはせたり・・・。そんな暮らしのできるこの街は、私には「ちようどいい街」だなあと思う。誰にとっても、ありふれた日常の中にこそ幸せを感じられる、そんな世の中になるといいなあ。

あなたの街は、「ちようどいい」ですか。

＊このシリーズはあなたとあなたの周りにいる人の間に温かいつながりが生まれることを願い、人権について考えるきっかけになることを目的としています。

■問い合わせ
人権啓発広報委員会
☎880・6569



なんこく歴史散歩 第44回

土佐は広大な太平洋と急峻な四国山地に囲まれた地で、海路・陸路ともに古くからいくつもの難所を越えて他の地域との交流が続けてきました。その中で、土佐から北山を抜けて瀬戸内側へと至る街道は、急峻ながら都への道を短縮するものとして延暦16（797）年に開設された記録があります。

江戸時代の各地の大名は領地と江戸を一年ごとに移動する参勤交代の義務を課されていました。土佐藩の参勤交代にはもともと浦戸湾から海路を利用して大阪へ至るルートがとられていました。しかし、天候などに大きく左右されるため出費が増大し、次第に陸路がとられるようになったことで、六代藩主山内豊隆の時代から北山越えの道が利用されるようになり、高知城を出発した一行は、



北山道の碑（亀岩）

－参勤交代北山越えの道－



土佐藩行列図（県立歴史民俗資料館蔵）

■問い合わせ
生涯学習課文化財係
☎880・6569